

ノーサイド

北原 巖 男

れていました。

2016年時点の携帯電話の普及率(人口比)

日本131.8%、東ティモール125.05%、カンボジア124.9%、ネパール111.7%、ミャンマー92.7%、ブータン88.8%、リオス83.8%
*アジアの低所得国の普及率は、平均97%
*東ティモール、カンボジアは、1人1台を超え、日本と大差無し。(出所:国際電気連合会)

台風15号がもたらした長期間の停電。携帯電話の充電が出来ないことも大きく報じられました。

そんなニュースを見ていて、携帯電話の普及率に関する新聞の切り抜きを思い出しました。ちょうど1年前の2018年10月20日付け日本経済新聞「数字で読むASIA」です。

そこには、次のようなネット驚きの数字が紹介されています。

率には驚かされます。

思い返せば長く続いた固定電話の時代。当初は、我が家も電話があるが近所のお金持ちの家に借りに行った。大家さんに呼び出しをお願いしていました。次第に各家庭にも電話が入るようになり、10円玉を沢山用意して公衆電話から実家へ電話したことも懐かしい思い出。

は、固定電話が各戸に普及することなどほど遠い状況を一気に飛び越えて、携帯電話時代に突入しています。しかもその普及率は、前述の記事のように日本と大差ないのです。

女性を含めほとんどが外国産です。自分より若い者は様々な可能性を秘めており、一生懸命努力することによって将来どれだけの人物になるかわからない。若いからといって見くびったり侮ったりしてはならない、むしろ畏敬をもって接するべきであるといった戒めでもあります。

東ティモールについては、ノルウェー、インドネシア、ベトナムなどの電話会社が進出しています。各携帯電話のSIMカードは、お互いに汎用性がないことから一人で2台持つといった青景もあるのではないかと懸念しています。

他方、典型的な開発途上国である東ティモールでは、

大丈夫でしょうか、日本の将来。

後生畏るべし

い出です。そして今や、各人が携帯電話を持つ時代に。街や駅からは公衆電話は急速に姿を消しています。

技術や製品等の積極導入に努め、自分のものにしてしまう。追いつけて来ています。

来たる国々の方が先行し、あらゆる分野によっては、日本は周回遅れになっていたなどといった事態も生じしかねないのではないかと思います。杞憂には思えないので

先進国である日本でもそんなに昔のことではありませ

そんなことがありまして、頑張り抜いて東ティモール人として初めて日本の

「後生畏るべし」(出典 理事

景もあるのではないかと懸念

大学から博士号を取得した

元防衛施設庁長官。元東ティモール大使。現(一社)日本東ティモール協会会長。(公社)隊友会

北原 巖男

(きたはらいわお)

先進国である日本でもそんなに昔のことではありませ

大学から博士号を取得した

元防衛施設庁長官。元東ティモール大使。現(一社)日本東ティモール協会会長。(公社)隊友会

北原 巖男

景もあるのではないかと懸念

大学から博士号を取得した

元防衛施設庁長官。元東ティモール大使。現(一社)日本東ティモール協会会長。(公社)隊友会

北原 巖男